

次号予告

特集 ビジネススクールにおけるORとOMの研究教育

手本なき時代にビジネス教育は可能か	住田 潮 (筑波大学)
MBAプログラムにおけるOMの研究教育	松尾博文 (神戸大学)
インターネット社会の進展とビジネス・イノベーション	岡本吉晴 (法政大学)
地域マネジメント研究科とオペレーションズ・リサーチ	宍戸栄徳 (香川大学)
ビジネススクールにおけるものづくりとOR	田畑吉雄 (南山大学)
開発業務とオペレーションズ・リサーチ	竹谷信夫 (パナソニック)
データマイニングビジネスにおける最適化技術の活用	草野隆史, 矢島安敏 (ブレインパッド)

編集後記

●昨年半ば過ぎから編集委員を務めさせていただいております。これまで気軽に机の上に放り出したりしていた学会誌ですが、その一冊ができるまでの重みを体感し、書棚にきちんと並べましたが、行方不明の号もあり、反省しきりです。

●さて、今月号の特集は「需要予測」です。昨年末、幼稚園児の息子とおもちゃを探しに店に行ってみると、目的のヒーローものの商品が全く無いのです。生産がおいついておらず、入荷しても即完売で入荷の目処も立たないとのこと。クリスマス・お年玉商戦で子どもに大人気のおもちゃが欠品状態とは、子どもはもちろん、店やメーカーも大泣きだったでしょう。同じメーカーが生産する同種のおもちゃは潤沢に商品が並んで

おり、むしろ売れ残っているようにも見えました。子どもの選択行動は不確定要素も多そうで、おもちゃといえども需要予測は難しそうです。

●昨年猛威を振るった新型インフルエンザのワクチンも当初国内製造分では全く足りないと予測され、海外から調達したものの結果として余り気味になっているようですが、足りないよりは良かったのだと思います。電力やガス、通信網、公共輸送網といったライフライン系の需要予測も低く読み間違えると、その影響は子どものおもちゃの比ではありません。人口減少や選択行動の多様化など予測を困難にする要因が多い中、供給者に課された様々な制約の中で需要予測をどれだけうまく行うか、ORが果たす役割は小さくなさそうです。(石井儀光)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 牧本直樹 (筑波大学)

委員 池邊淑子 (東京理科大学), 石井儀光 (畑建築研究所), 尾崎尚也 (財鉄道総合技術研究所), 恐神貴行 (日本アイ・ビー・エム(株)), 木村新之介 (東京ガス(株)), 草刈君子, 栗田佳文 (防衛省), 高野正次 (日本電信電話(株)), 齋藤彰一 (株構造計画研究所), 高嶋隆太 (千葉工業大学), 田島博之 (秀明大学), 筒井美樹 (財電力中央研究所), 豊泉 洋 (早稲田大学), 生田目崇 (専修大学), 西川武一郎 (株東芝), 増田浩通 (千葉工業大学), 八木恭子 (東京大学), 渡邊 勇 (財電力中央研究所)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成 22 年 4 月号 第 55 卷 第 4 号 通巻 592 号

代表者 伏見 正 則

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 牧本 直 樹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ